

普通/急速充電器の適切な設置場所のヒント

自宅外で充電すると、経済的メリット^(*)やエコなどに繋がることから、自宅外の充電器設置のニーズが高まっています。本資料は、適切な充電器の設置場所と、その場合の設置者にとってのメリットを紹介するものです。

^(*) あるプリウスPHVユーザ（電気:ガソリン= 3:7の割合で走行）が、7回に1回自宅外で充電すると、ガソリン消費量を約7%節約できた。

1. 充電器の種類と適切な設置場所の考え方

種類	主な用途	適切な設置場所の考え方 (詳細は2.参照)	充電可能な車種 ^(*)2) と充電時間 ([*] 13年3月末時点)	
			EV	プラグインハイブリッド
普通充電器 スタンドタイプ 壁掛けタイプ コンソートタイプ	目的地充電 (目的地での滞在中の充電)	・長時間滞在する/させたい施設 ・一箇所複数台設置が望ましい	日産リーフ: 8時間 三菱iMiEV: 4.5~7時間	トヨタ プリウスPHV: 90分 三菱アウトランダー-PHEV :4時間
急速充電器	経路充電 (移動経路上での充電) 緊急充電 (電欠の恐れが生じた際の駆け込み充電)	・短時間滞在する/充電器の利用時間を短くしたい施設	日産リーフ: 30分 三菱iMiEV: 15~30分	三菱アウトランダー-PHEV :30分

^(*)2)普通充電器のみ対応した車種もあり (ご参考) 急速充電器による充電時間は、出力50kWで80%まで充電した場合の時間
普通充電器による充電時間は、電圧200V、電流15Aで充電した場合の時間

3. 充電器設置者にとってのメリット (まとめ)

- 1) エコな取り組みで、先進性をアピールできる
・ブランドイメージを高める事ができる
- 2) 排ガスや騒音を気にするお客様に、クリーンな環境を提供できる
- 3) 観光誘客や集客に繋がる (インセンティブで効果拡大)
- 4) 他店/他社との差別化ができる
- 5) お客様の滞在時間が長くなる

お客様へのインセンティブ例:

- ① 充電時の電気代を無料化
- ② 店舗に近い場所(一等地)に駐車
- ③ 買い物時のサービス・値引き

空港の取組

空港の駐車場に充電器を複数台設置し、エコをアピール。



ゴルフ場の取組

全国のゴルフ場100箇所に充電器を設置。



旅館の取組

旅館に充電器を設置することで、エコ意識を持った宿泊客に利用頂き、高品質な旅館のイメージを維持。



旅館組合の取組

温泉旅館協同組合の合意のもと、充電器をまとめて発注し、複数の旅館に集中的に設置。



普通/急速充電器をバランスよく、適切な場所に設置することが望ましい。

2. 適切な普通/急速充電器の設置割合と設置場所(利用促進取組事例) イメージ

充電器に関するお客様アンケートや実証試験等の結果から、充電器設置場所等をイメージ。(詳細は補足資料(次頁)参照)

道の駅の取組

急速充電器と普通充電器を併設することで、充電器の満車に対応可能。また、設置工事を同時に行うことで、工事費用を節約できる。



観光地の取組

宿泊客がEVを無料でレンタルできる宿泊プランを旅行代理店が販売。観光地に充電器を設置し、地域全体の活性化を推進。

マンションへの取組

ある区では、新築マンションの全駐車区画の10%に充電器を導入するよう、指導。

美術館の取組

充電器利用で、入館料を割引。



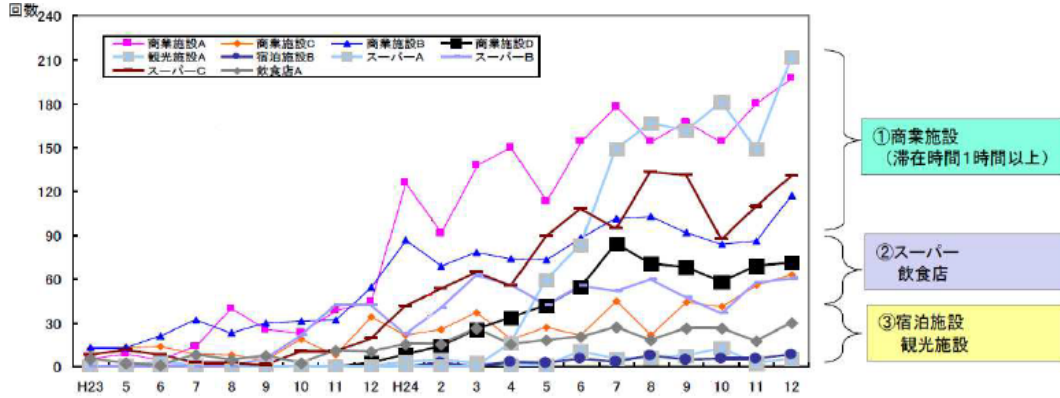
種類
● 急速充電器
● 普通充電器

1. 普通充電器に関するデータ

(1) 充電器利用回数増加に関するデータ

自宅外で充電するとガソリン消費量の節約に繋がる^(*)事などから、充電器の利用回数は増加傾向にあり、お客様の外出先での充電器のニーズが高まってきている。

^(*)あるプリウスPHVユーザー（電気:ガソリン=3:7の割合で走行）の場合、7回に1回自宅外で充電すると、ガソリン消費量が約7%節約できた。



図表1：普通充電スタンド利用回数実績

（普通充電器メーカー資料より引用。施設に設置されている充電器の台数はそれぞれ異なる。）

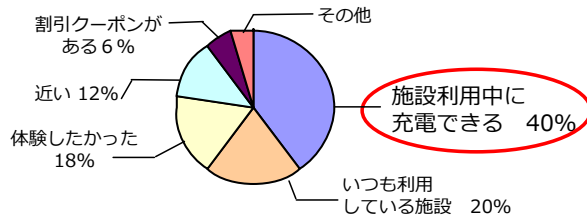
(2) 要望のある普通充電器設置の場所（愛知県充電インフラ普及に関する実証実験：トヨタプリウスPHV保有者597人回答）

要望のある設置場所	回答数(人)
ショッピングモール	371
高速SA	335
宿泊施設	313
スーパーマーケット	291
コンビニ	230

図表2：充電器設置場所要望アンケート結果

ショッピングモールや、高速SA、宿泊施設等に普通充電器を設置する要望が多い。

(3) プリウスPHVを外出先で充電する理由（愛知県充電インフラ普及に関する実証実験）



図表3：外出先で充電する理由に関するアンケート結果

外出先で施設利用中に充電できることをお客様は期待している。また、一度充電器を利用すると、再度利用される傾向にある。

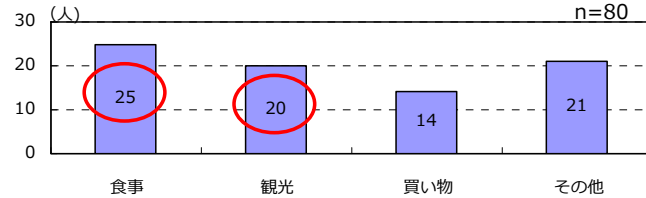
設置場所	利用比率(%)
商業施設A	82
商業施設B	85
商業施設C	83

図表4：普通充電器利用客の利用比率

2. 急速充電器に関するデータ

(1) 道の駅における充電時間の活用^{*2}

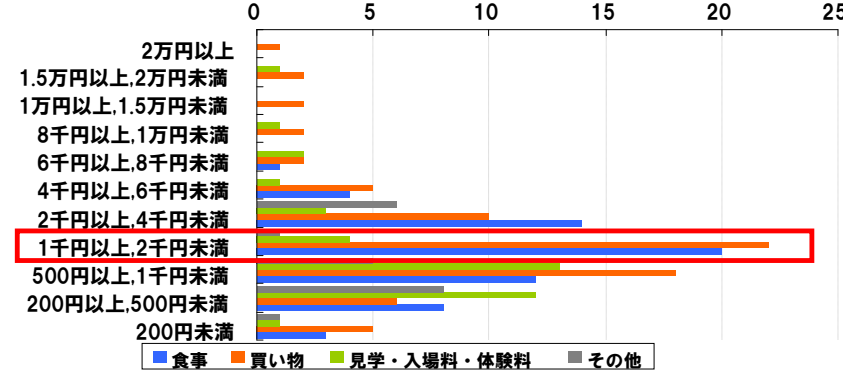
^{*2}（北海道/オホーツクEV推進協議会：H23無雪期モニターアンケート結果）



図表5：充電時間の活用方法アンケート結果

お客様は充電中に食事や観光をしている。

(2) 道の駅において充電中に消費する額^{*2}（1グループ・1回あたりの消費金額）

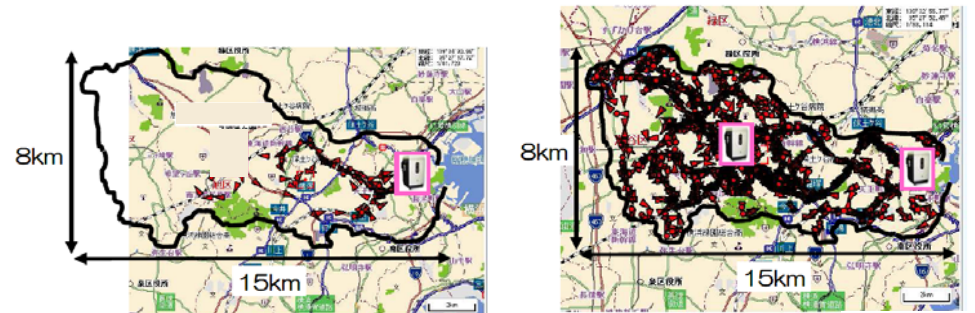


図表6：充電中の消費金額

充電中に食事や買い物で約1千～2千円消費する。

(3) 急速充電器設置による安心感の影響（安心感の増加による走行範囲の広域化：東電の実証実験より）

急速充電器の増設前（2007年10月） → 急速充電器の増設後（2008年7月）



急速充電器が増設されるとEVの行動範囲が広がる。

図表7：EVの走行範囲

お問い合わせ先：
 トヨタ自動車株式会社 担当 内海 (03-5800-7432)
 日産自動車株式会社 担当 筒本 (050-3804-7647)
 本田技研工業株式会社 担当 山元 (080-4918-7567)
 三菱自動車工業株式会社 担当 堤、谷田部 (03-6852-2495)